

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
サービス・ラーニング (地域イベント・ボランティア)	1	通年	2	学部共通・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(かげやま ゆうこ) 影山 優子	授業の初回時に詳細を説明します。Uniprove/CS(授業支援システム)を活用します。			

(英文科目名 Service Learning )

#### 授業の概要

「地域」(具体的には狭山市、狭山市近隣地域、長野県飯山市など)において、様々な団体(商店街、福祉事業所、観光局、行政機関、個人等)と協働しながら地域を活性化したり、課題解決する活動を行います。

履修者はいずれかのプロジェクトに参加し、実際に地域に入り、住民と関わりながら活動の企画から運営、評価、報告まで行います。なお、随時、学外連携機関との窓口であるヒューマンサービスセンター(HSC)の支援を受けながらプロジェクトを進めます。

#### 科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(4)、すなわち、講義で培った知識やスキルと体験による総合的な学修経験を得る科目として位置づけられます。

チームワークによる活動のプロセスで得られる経験蓄積は、学生のキャリア準備性を高め、本学のキャリア教育との相乗的効果を実現します。また、地域での活動(イベント・ボランティア等)を通じ、地域社会の諸問題に触れながら、各自の関心分野を拓げつつ、専門知識と実社会の事象との統合的理解を図ります。

#### ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1) 知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	○	・地域にある課題とその背景にある問題を説明できる
(2) 汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	・活動報告等の機会において、団体や住民等に対して適切な内容と方法で説明することができる
(3) 態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	・特定の課題から、現代社会における普遍的な課題を発見することができる ・ボランティア活動を通じて他者と協調できる
(4) 総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。	○	・社会とのつながり、社会における自分についての理解を深め、社会、コミュニティの問題・ニーズへの応答のあり方を指摘できる ・チームワーク活動に参加することで、チームの一員として活動する際に必要なコミュニケーション能力、ストレスコントロール力を身に付け、将来のキャリア形成に応用できる

#### 授業の方法・講義手法の概要

講義、実習(学外地域活動、及びその企画・準備活動等)

前期と後期の初めには、団体のスタッフなどをゲスト・スピーカーとして招き、抱えている課題やテーマ等について説明していただきます。実際の活動等は「チームワーク・ラーニング(地域イベント・ボランティア)」「リーダーシップ・ラーニング(地域イベント・ボランティア)」の履修学生との合同となります。

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	ガイダンス・自分の関心について発表、話し合う	事前学修: 関心のある社会的課題について考える(30分) 事後学修: 「この授業で経験・学びたいことについて」レポートをまとめる(30分)
2	ボランティア、地域活動について理解する①	事前学修: ボランティアについて調べる(30分) 事後学修: 授業について感想をまとめる(30分)
3	ボランティア、地域活動について理解する②ゲスト講師による課題説明	事前学修: 地域について調べる(30分) 事後学修: ゲスト講義についてのレポートをまとめる(30分)
4	活動グループ分け	事前学修: 関心のあるプロジェクトについて調べる(30分) 事後学修: プロジェクトメンバーの関心をまとめる(30分)
5	プロジェクトごとのグループワーク①	事前学修: グループワークのための準備(30分) 事後学修: グループでの活動をまとめる(30分)
6	プロジェクトごとのグループワーク②	事前学修: グループワークのための準備(30分) 事後学修: グループでの活動をまとめる(30分)
7	プロジェクトごとのグループワーク③	事前学修: グループワークのための準備(30分) 事後学修: グループでの活動をまとめる(30分)
8	プロジェクトごとのグループワーク④	事前学修: グループワークのための準備(30分) 事後学修: グループでの活動をまとめる(30分)
9	中間報告(前半)	事前学修: 中間報告の発表準備(30分) 事後学修: 中間報告の発表準備(30分)
10	中間報告(後半)	事前学修: 中間報告の発表準備(30分) 事後学修: 中間報告の発表準備(30分)
11	フィールドワーク①	事前学修: フィールドワークの準備(30分) 事後学修: フィールドワークのまとめ(30分)
12	フィールドワーク②	事前学修: フィールドワークの準備(30分)

		事後学修:フィールドワークのまとめ(30分)
13	フィールドワーク③	事前学修:フィールドワークの準備(30分) 事後学修:フィールドワークのまとめ(30分)
14	前期成果報告(前半)	事前学修:成果報告の準備(30分) 事後学修:成果報告の準備(30分)
15	前期成果報告(後半)	事前学修:成果報告の準備(30分) 事後学修:半年の活動を振り返ってのレポート(30分)
16	後期ガイダンス、プロジェクトについての説明	事前学修:前期のふりかえり(30分) 事後学修:後期に経験したいことについてまとめる(30分)
17	ゲスト講師による課題説明	事前学修:地域について調べる(30分) 事後学修:ゲスト講義についてのレポートをまとめる(30分)
18	活動グループ分け	事前学修:関心のあるプロジェクトについて調べる(30分) 事後学修:プロジェクトメンバーの関心をまとめる(30分)
19	プロジェクトごとのグループワーク①	事前学修:グループワークのための準備(30分) 事後学修:グループでの活動をまとめる(30分)
20	プロジェクトごとのグループワーク②	事前学修:グループワークのための準備(30分) 事後学修:グループでの活動をまとめる(30分)
21	プロジェクトごとのグループワーク③	事前学修:グループワークのための準備(30分) 事後学修:グループでの活動をまとめる(30分)
22	プロジェクトごとのグループワーク④	事前学修:グループワークのための準備(30分) 事後学修:グループでの活動をまとめる(30分)
23	中間報告(前半)	事前学修:中間報告の発表準備(30分) 事後学修:中間報告の発表準備(30分)
24	中間報告(後半)	事前学修:中間報告の発表準備(30分) 事後学修:中間報告の発表準備(30分)
25	フィールドワーク①	事前学修:フィールドワークの準備(30分) 事後学修:フィールドワークのまとめ

		(30分)
26	フィールドワーク②	事前学修:フィールドワークの準備(30分) 事後学修:フィールドワークのまとめ(30分)
27	フィールドワーク③	事前学修:フィールドワークの準備(30分) 事後学修:フィールドワークのまとめ(30分)
28	フィールドワーク	事前学修:フィールドワークの準備(30分) 事後学修:フィールドワークのまとめ(30分)
29	後期成果報告(前半)	事前学修:成果報告の準備(30分) 事後学修:成果報告の準備(30分)
30	後期成果報告(後半)	事前学修:成果報告の準備(30分) 事後学修:一年の活動を振り返ってのレポート(30分)

#### 成績評価の方法・基準

ボランティア等への積極的な参加と態度(70%)、参加意義の理解、事後報告等(30%)により、総合的に評価します。

#### 指定教科書

#### 参考文献等

#### 履修上の留意点

実際の活動は地域に出て行う学外活動となります。また、活動準備のため、授業外での活動(個人・グループ)もあります。地域に行く際の交通費等自己負担です。

#### 実務経験